

松浦建設株式会社

～ “大洲の青石” 公共工事から庭の敷砂利まで～



本社



水が引いた後の事務所(ドアの上まで浸水)



内装・設備を改修した運輸部事務所



工事車両入れ替え

↑ 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市菅田町菅田甲2274番地 1
- 連絡先：0893-25-5335
- 事業内容：建設業・砕石製造販売
- 代表者名：代表取締役 松浦弘義
- 企業のPRポイント：昭和3年創業。弊社が採取した輝緑岩(きりよくがん)は、庭石や大洲城の石垣をはじめ、千葉県・高知県などでは、太平洋の荒波に耐えうるテトラポットの骨材などにも使われています。

🕒 被災前後の状況

- 被災前日の7月6日に国と県から災害対応要請があり、半数の社員が現場へ出ていたところ、翌7日の早朝には、自社建物や建設車両が浸水していました。これまでの水害ではほとんど被害はなく、今回が初めての床上浸水でした。
- 被災後の約1ヶ月間、日中は受注工事の施工を継続し、夕方から現場から帰ってきた全社員で少しずつ片付けを行いました。
- 本社1階が2m浸水したため、被害を免れた採石場に仮設の事務所を作り対応しました。その後、本社事務所を2階に移設し、業務を再開しました。
- 水没した1階部分はまだ修繕が終わっておらず、令和元年11月現在の復旧状況は、会社全体で80%ほどです。

🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金は、運輸部の事務所修繕の他、特殊車両や建設作業機器、パソコン等の設備の入替に活用しました。
- 特殊車両については、近年の災害多発による需要の高まりもあり、新車・中古車問わず調達困難で、補助要件を満たす車両を調達するのに苦労しました。

👤 事業者からのメッセージ

- BCPを策定し、訓練もしていましたが、想定外のことになるとまったく対応ができず、災害対策の難しさを痛感しました。
- 被災後、多くの方からお見舞いをいただきました。本来であれば災害後は率先して建設会社が現場で作業しなければいけないところ、何もできず歯がゆい思いをしました。
- 令和元年に豪雨災害に遭われた九州北部や長野県に、弊社から復旧応援に行きました。
- 今後も、少しでも恩返しするため、県内外を問わず現場へ出向いて活動していきたいと考えています。



松浦代表取締役